

東日本大震災の被害状況

2011.3.31 日本物理学会事務局

3月11日の事務局・刊行センターの状況

- (1) 地震発生時には事務局（港区新橋5丁目 ビルの5階）に9名の職員が在室
- (2) 地震により人的被害はなかったが、本棚が倒れたりして物品が散乱
- (3) 交通の混乱を心配して直ちに帰宅の処置
- (4) 電車は動かず、徒歩での帰宅となり、職員によっては約40kmを徒歩で帰宅
- (5) 途中の避難所で夜明かしをしたケースも発生
- (6) 事務局入居ビルには顕著な被害は無し
- (7) 刊行センター（文京区湯島 ビルの5階）でも人的被害はなかったが、物品の散乱、天井パネルのずれなどが生じた。9名がセンターで夜明かしをした。

事務局被害概要

【概要】

- ・ 今回に震災被害は書架の耐震処置を行っていなかった場所で集中していた。
- ・ 他の未処置の棚も含めて耐震処置を手配中
- ・ 投稿審査システム・タイムカード打刻機の修理を急ぐ
- ・ 改めて災害対策品の入手が必要であるが、現状では入手困難であり、今後に向けての手配が必要

【主だった被害状況】

➤ 打合せスペース東側設定書架



上段が崩落、下段は圧壊→下段廃棄、上段は床置きの手配

➤ **サーバー設置スペース**



サーバー前に設置の書架上部が崩落、この影響で投稿審査システム
スタンバイサーバーの無停止電源本体とコントロールパネルをつなぐ
フラットケーブル切断。

→業者に修理依頼予定

➤ **書庫**



入り口より前2列が傾いで危険な状態

→修理依頼中（前2列撤去の可能性あり）

➤ **タイムカード打刻機**

落下により印字不全→修理か統合勤怠管理システムへの移行を検討

以上